

雲外蒼天

No. 14

付箋紙ふせんし（ポストイット）をどう使うか

付箋紙の使い方を紹介します。付箋紙は人によってはなじみがないかもしれませんが、どんどん使っているという人もいます。これがなかなか使えるツールなのです。復習、テスト後の直しなど有効利用できる場面はたくさんあります。

付箋紙はコンビニや 100 円ショップでも様々な大きさと色のものが売られています。また、貼ったりはがしたりを繰り返す場合には、プラスチック製のものも売られていますので、これを使うのがいいかとも思います。

さて、復習での使い方ですが、理解できないところに付箋紙を貼っていきます。授業やノートでは理解できなかったところで、参考書にわかりやすい説明があれば、そこにも貼っておきましょう。ノートにその説明を転記してもいいのですが、時間がもったいないので参考書の名前とその該当のページを記入しておきます。

参考書など他の本を読んでも理解できなかった部分には、質問用の付箋紙(質問用の色を決めてそれを貼ればわかりやすい)を貼り付けておきましょう。そうすれば付箋紙のおかげで質問箇所がすぐにわかるため、わからない部分をうっかり質問し忘れることがなくなります。このように付箋紙を利用して、理解できないところを洗い出していくことができます。

次にテスト後の使い方です。ここでの目的は、復習事項の洗い出しです。定期試験や模擬試験で間違えた問題の解説に付箋紙を貼っていきます。さらにノートの中で、間違えた問題に関する部分にも付箋紙を貼っていきます。

ここまで読んできて、自分は付箋紙ではなくマーカーを活用しているから付箋紙はいらない、という人もいます。マーカーとの違いは、マーカーは消すことができませんが、付箋紙ははがすことができるということ、これは大きな違いです。逆に、赤のマーカーで重要単語をマークして、赤い下敷きでその単語を覚えたかどうか簡単にチェックすることができるということがあります。つまり、用途に応じて使い分ければそれぞれに効果を発揮するというわけです。

最後に付箋紙の効用をもう一つ。課題や疑問を解消するたびに、付箋紙をはがしていきます。この 1 枚ずつはがしていくという作業が、地味ですがモチベーションを高めていく上で重要な行為です。これ(付箋紙を 1 枚ずつはがす)をすることが、大きな達成感と自信に繋がるのです。やる気を高めるのは、ゴールまであとどれぐらいか、今自分の位置を数字で客観的に見ることが大事です。付箋紙はその目的、そして勉強を続けていくためのモチベーションを高めるための最適のツールなのです。

